令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

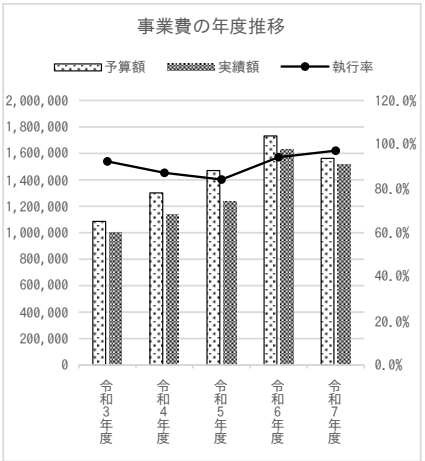
施策	09　質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進		
分野	03　気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち		
施策担当課	環境課	関係課	

施策目標

○気候危機に立ち向かうための行動が区民一人ひとりに浸透し、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガスの削減が着実に進んでいます。
○再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー対策の推進により、エネルギーの有効利用が進むとともに、災害時等における安定的なライフラインの確保にも寄与しています。
○あらゆる世代の環境教育・環境学習をより充実させ、環境意識の醸成を図り、気候変動問題を自分事と捉え、区民一人ひとりがライフスタイルの一部として、環境に配慮した取組や自然との共生に向けた行動を継続的に実践しています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	再生可能エネルギー等の導入助成件数		件	計画	404	800	1,620	1,620	
				実績	773	1,205	1,507	-	
				達成率	191.3%	150.6%	93.0%	-	
	断熱改修等省エネルギー対策助成件数		件	計画	480	780	1,180	1,180	
				実績	569	794	1,446	-	
				達成率	118.5%	101.8%	122.5%	-	
	講座・講演会等の参加者数	環境活動推進センターで開催される講座・講演会等の参加者数	人	計画	2,063	1,935	1,784	2,100	
				実績	1,910	1,768	2,033	-	
				達成率	92.6%	91.4%	114.0%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	区内の温室効果ガス排出量	オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」算定数値（特別区協議会）	千t-CO_2eq	計画	1,409	1,329	1,249	1,169	令和12年度
				実績	1,636	1,571	1,430	-	848千t-CO_2eq
				達成率	116.1%	118.2%	114.5%	-	
	分類　社会成果（課題）指標								
	区内の太陽光発電導入容量	資源エネルギー庁「固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備認定・導入量」	万kW	計画	2.7	4.03	4.56	5.09	令和12年度
				実績	2.94	3.48	4.26	-	7.2万kW
				達成率	108.9%	86.4%	93.4%	-	
	分類　社会成果（課題）指標								
	環境に配慮した取組を行っている区民の割合	区民意向調査による	%	計画	90.5	92	93.5	95	令和12年度
				実績	84.3	85.9	87.3	-	100%
				達成率	93.1%	93.4%	93.4%	-	
	分類　利用者満足度指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,085,874	1,301,231	1,470,154	1,731,800	1,562,447	1,503,558
			実績額	1,002,916	1,134,386	1,236,927	1,632,692	1,519,019	-
			執行率	92.4%	87.2%	84.1%	94.3%	97.2%	-
	人件費	千円	予算額	391,365	382,648	445,993	450,157	442,876	486,818
			実績額	395,770	424,588	464,045	491,680	476,253	-
			執行率	101.1%	111.0%	104.0%	109.2%	107.5%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	1,477,239	1,683,879	1,916,147	2,181,957	2,005,323	1,990,376
			実績額	1,398,686	1,558,974	1,700,972	2,124,372	1,995,272	-
			執行率	94.7%	92.6%	88.8%	97.4%	99.5%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,118	2,003	10,991	119	22,327	22,258
			実績額	1,778	5,227	36,491	33,142	22,739	-
			執行率	159.0%	261.0%	332.0%	27850.4%	101.8%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		14.0%	13.8%	13.9%	-8.1%	-0.7%
			実績額		11.5%	9.1%	24.9%	-6.1%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	26.5%	22.7%	23.3%	20.6%	22.1%	24.5%
			実績額	28.3%	27.2%	27.3%	23.1%	23.9%	-



特記事項

施策の成果	区内の温室効果ガス排出量の削減のため、区民、事業者等に対して再生可能エネルギー等の導入及び断熱改修等の省エネルギー対策助成を2,953件、LED照明機器切替助成を160件、電気自動車用充電設備導入助成を54件実施しました。併せて、区立施設における太陽光発電設備や蓄電池の設置を進めたほか、再生可能エネルギー電力調達の取組方針に基づき、一部の高圧受電施設において調達電力を再生可能エネルギーへ転換しました。 また、気候変動に対応した持続可能な社会を実現するには、区民一人ひとりの理解と協力が不可欠です。そのため、気候区民会議の意見提案を踏まえ、気候変動対策に主体的に取り組む将来世代の区民を一層増やすことを目的に、ユース（中高生世代）を対象としたワークショップ（全3回、延べ152名参加）を新たに開催するとともに、その取組を広く区民に発信すること等により、区民の気候変動対策に関する意識の醸成と行動変容の促進につなげました。

課題の分析	区内の温室効果ガス排出量は年々減少していますが、2030年度のカーボンハーフには、５年度の排出量から582千t-CO_2eqの追加削減が必要であり、現状の削減ペースでは達成が困難な状況です。 そのため、排出量の約半分を占める家庭部門を中心に具体的な削減策を示し、重点的に取り組む必要があります。併せて、区立施設における再生可能エネルギーの導入・利用と省エネルギー対策を一層推進することで、率先して温室効果ガスの排出削減に努めていくことが求められます。こうした取組に加え、エネルギー分野においては、ペロブスカイト太陽電池などの技術革新が進展していることから、これらの普及に向けた適切な対応を図るため、民間事業者等との連携体制を構築していくことが必要です。 加えて、カーボンハーフの達成及びゼロカーボンシティの実現に向けては、区民の意識醸成や行動変容をより一層進めていくことが不可欠であり、次世代を含む幅広い層への継続的な普及啓発を通じ、脱炭素に向けた意識と行動の定着を図る必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	これまで、2030年カーボンハーフの達成に向けて取組を進めてきましたが、温室効果ガス排出量の削減ペースは十分ではなく、更なる取組の推進が必要です。そこで、区内温室効果ガス排出量のうち最も高い割合を占める家庭部門を重点分野とし、区の現状や課題を区民と共有し、目標達成に向けた取組や今後の方向性を示す脱炭素ロードマップを令和8年度に策定します。また、ロードマップ作成後、毎年度、目標達成に向けた取組の進捗や削減効果を検証し、効果や課題などを踏まえながら必要な見直しを行うとともに、その状況について分かりやすく可視化し、効果的に情報発信することで、区民・事業者・区が目標を共有し、一体となってカーボンハーフを進められるよう取り組んでいきます。 加えて、再生可能エネルギーの導入助成等の拡大を検討し、区内の太陽光発電導入容量の増加及び温室効果ガス排出量の削減につなげていきます。また、脱炭素化に資する新技術については、民間事業者等との情報共有や意見交換を積極的に行うことで活用可能な技術の速やかな導入に努めていきます。 さらに、ユース世代を対象としたワークショップや気候区民会議などを通じて、区民が気候変動対策について学び、考え、議論する機会を継続的に展開するとともに、その取組を広く発信し、次世代を含む幅広い層への脱炭素に向けた意識の醸成と環境に配慮した行動の定着を図っていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　09　】【施策名称　質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	423	杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進	○	○	282,416	101,395	383,811	推進（拡充）
2	424	環境配慮行動の推進	○		3,900	10,817	14,717	現状維持
3	431	自然環境の保全	○		6,408	6,098	12,506	推進（拡充）
4	441	環境活動推進センター等の事業運営	○		99,613	9,927	109,540	その他
5		以下再掲事業の評価表						
6	389	私道整備助成						
7	392	道路の路面改良						
8	393	魅力ある歩行者優先の道づくり						
9	396	水害多発地域対策の推進						
10	398	河川維持管理						
11	401	雨水流出抑制対策等工事助成						
12	406	街路灯の新設・改修						
13	408	民有灯の助成（建設補助）						
14	415	公園のリニューアル						
15	417	みどりを創る						
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					392,337	128,237	520,574	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	「環境活動推進センター等の事業運営」については、人件費や諸経費の上昇に伴い予算額の増加を見込んでいますが、事業の拡充によるものではないため、「その他」としています。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

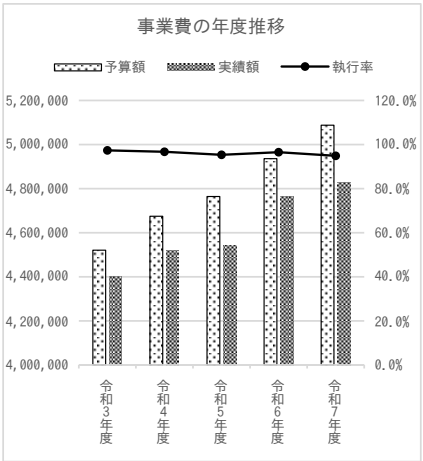
施策	10　快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現		
分野	03　気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち		
施策担当課	ごみ減量対策課	関係課	

施策目標

○食品ロスやワンウェイプラスチックの削減等、ごみの発生抑制に対する区民の意識が向上することで、ごみ・資源の総排出量が着実に減少しています。
○区民によるごみ・資源の分別徹底やプラスチックの新たな資源化等により、環境負荷を軽減する３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の取組が一層推進されています。
○ごみ出しに関するルールやマナーが守られるとともに、集積所におけるカラス対策の効果が上がることにより、まちの美観が向上しています。
○区で定めた喫煙ルールが広く区民に浸透していることに加え、喫煙場所のあり方の検討が進んでいます。また、アスベスト対策の強化により、建築物の解体工事などによるアスベストの飛散防止の徹底が図られています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	ごみの収集量	可燃、不燃、粗大の収集量	t	計画	95,667	94,227	93,928	93,557	
				実績	90,362	89,161	88,713	－	
				達成率	94.5%	94.6%	94.4%	－	
	資源の回収量	資源回収量（行政回収分）	t	計画	39,075	38,487	38,364	38,213	
				実績	28,982	28,305	27,649	－	
				達成率	74.2%	73.5%	72.1%	－	
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
成果指標	ごみ・資源総排出量指数	ごみ・資源総排出量（年間可燃・不燃・粗大・資源回収量÷人口÷365日）について、令和2年度（2020年度）を100として比較		計画	95.5	94	92.5	91	令和12年度
				実績	89.7	87.3	85.4	－	85
				達成率	93.9%	92.9%	92.3%	－	
	分類　社会成果（課題）指標								
	区民一人1日当たりのごみ排出量	年間可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ量÷人口÷365日	g/人・日	計画	458	451	444	437	令和12年度
				実績	432	423	417	－	410g/人・日
				達成率	94.3%	93.8%	93.9%	－	
	分類　社会成果（課題）指標								
	可燃ごみに含まれる生ごみの量	家庭ごみ排出状況調査	t	計画	33,100	26,500	26,350	26,200	令和12年度
				実績	26,030	23,825	23,646	－	25,600t
				達成率	78.6%	89.9%	89.7%	－	
	分類　社会成果（課題）指標								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	4,520,876	4,674,787	4,764,371	4,936,062	5,087,840	5,523,732
			実績額	4,401,495	4,521,600	4,542,869	4,764,875	4,827,979	－
			執行率	97.4%	96.7%	95.4%	96.5%	94.9%	－
	人件費	千円	予算額	1,637,561	1,511,412	1,506,507	1,489,953	1,546,938	1,631,697
			実績額	1,587,046	1,542,176	1,517,680	1,579,839	1,660,687	－
			執行率	96.9%	102.0%	100.7%	106.0%	107.4%	－
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	6,158,437	6,186,199	6,270,878	6,426,015	6,634,778	7,155,429
			実績額	5,988,541	6,063,776	6,060,549	6,344,714	6,488,666	－
			執行率	97.2%	98.0%	96.6%	98.7%	97.8%	－
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,520	1,003	2,980	5,224	1,318	55,240
			実績額	55,589	60,613	64,708	71,349	81,877	－
			執行率	3657.2%	6043.2%	2171.4%	1365.8%	6212.2%	－
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		0.5%	1.4%	2.5%	3.2%	7.8%
			実績額		1.3%	-0.1%	4.7%	2.3%	－
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	26.6%	24.4%	24.0%	23.2%	23.3%	22.8%
			実績額	26.5%	25.4%	25.0%	24.9%	25.6%	－



特記事項

施策の成果	令和7年度のごみ収集量は88,713tとなり、令和6年度より448t減少しました。その結果、区民一人1日当たりのごみ排出量は417gとなり、令和6年度より6g減少する結果となりました。資源回収量は27,644tとなり、令和6年度より661tの減少となりました。ごみ・資源の総排出量は引き続き減少傾向が続いており、区民・事業者・区の協働による継続した取組の成果の表れと考えます。また、令和6年度の家庭ごみ排出状況調査の組成割合から推計した可燃ごみの中の生ごみの量は23,646ｔとなり、令和6年度より179ｔ減少しました。ワンウェイプラスチックの使用削減の取組では、イベント向けリユース容器貸出事業及び事業者向けリユース容器活用支援助成を引き続き行いました。 食品ロス削減対策として、「食べのこし０（ゼロ）応援店」は1,005店舗（新規75店舗含む）、食べ残しの持ち帰りを啓発する「mottECO（モッテコ）普及推進モデル事業」を113店舗で実施しました。さらに、フードドライブに提供された食品9,802個を区内子ども食堂等に提供したほか、フードシェアリングサービス「TABETE」の登録店舗は110店舗（16店舗増）となりました。こうした取組の結果、合計7ｔ以上の食品ロス削減につながりました。 資源化の促進の取組としては、令和7年度にダウン製品(衣類)の拠点回収を開始したほか、区役所に衣類回収ボックスを設置しました。また、令和8年4月からの区内全域でのプラスチック製品の分別回収、粗大ごみで収集した自転車等の資源化の準備を整えました。 安心・快適に暮らせる生活環境の確保として、公衆喫煙場所1か所を煙の漏れないコンテナ型に改善したほか、巡回指導の体制強化などの受動喫煙等の防止を図りました。また、工事現場等への立ち入り調査やパトロールのほか、区民等が家屋等の解体工事を行う際のアスベスト分析調査に対する補助制度により、アスベスト飛散防止に取り組みました。

課題の分析	快適で暮らしやすいまちと循環型社会を実現するためには、区民・事業者・区がそれぞれの責務と役割を果たし、協働していくことが不可欠です。 食品ロス削減については、「食べのこし０応援店」や「mottECO(モッテコ)普及推進モデル事業」に登録する店舗が増加していますが、さらに周知を進め、区内全域の店舗に対して食品ロス削減の取組を浸透させることが必要です。 また、8年４月から区内全域で実施している資源プラスチックの分別回収を含め、ごみ・資源の分別徹底について、区民等への周知・啓発活動をより一層強化し、ごみ減量及び資源化を促進していく必要があります。 生活環境の安全と安心の確保では、近年、路上喫煙やごみのポイ捨てなどは大幅に減少する一方で、受動喫煙に対する苦情は増加傾向にあることから、啓発活動や路上喫煙防止指導などを粘り強く続けることに加え、一層の分煙を図る取組が必要です。また、管理不適正な空地等への助言・指導や有害鳥獣・衛生害虫の防除については、民有地における対応や自然界の動物が対象であることなどから、すべてを防ぐことは困難ですが、寄せられる苦情・要望の聴き取り等を丁寧に行いながら改善や被害拡大の抑制に向けた取組を進めていく必要があります。そのほか、アスベスト分析調査に対する補助制度については、開始から２年となりますが、年間の補助目標２０件に対して交付数が５件に留まっていることから、制度の一層の周知を図るとともに、交付要件の見直しを行うことで、利用促進を図る必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	食品ロスやワンウェイプラスチックの削減に資する取組の更なる普及啓発に努め区民、事業者等と一体となって推進することで、ごみ・資源の発生抑制を図ります。また、区民に分かりやすい分別方法の周知を継続するほか、新たな資源品目についての検討等により、循環型社会の実現を目指します。 良好な集積所環境の確保に向け、集積所規模の見直しや分散化、排出ルールの周知・指導を継続します。また、アプリ利用の周知やマナー向上に関する情報発信を強化していきます。あわせて、高齢化の進展に伴い増加する「ふれあい収集」や「粗大ごみ運び出しサービス」における居住場所変更等の最新状況を確実に把握できる連携体制の構築など、事業手法や運用方法の改善を図ります。 生活環境等の改善については、路上喫煙防止に向けた巡回指導の強化を図るとともに、受動喫煙対策として屋内型喫煙場所等の整備や民間喫煙所設置支援を進め、喫煙者・非喫煙者の双方にとって快適な環境づくりに取り組みます。また、有害鳥獣や衛生害虫に関する苦情・相談への適切な対応や普及啓発を継続していきます。アスベスト分析調査補助制度については、6年度に事業開始以降、年間交付予定件数を下回っていることから、交付要件の見直しを行うとともに、業界団体への周知を図り、利用促進に向けた取組を進めていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　10　】【施策名称　快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	425	安全美化条例に基づく生活環境の改善	○	○	73,504	47,930	121,434	現状維持
2	426	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談			13,244	9,739	22,983	現状維持
3	428	ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進	○	○	9,130	14,553	23,683	現状維持
4	429	公害等防止	○		3,862	40,434	44,296	現状維持
5	430	大気や河川水質などの環境実態調査			24,410	38,298	62,708	現状維持
6	432	一般廃棄物処理管理事務	○		3,718	21,323	25,041	現状維持
7	433	ごみの減量と資源化の推進	○		92,081	117,064	209,145	現状維持
8	434	ごみ・し尿の収集・運搬	○	○	1,909,694	998,395	2,908,089	現状維持
9	435	資源の回収	○	○	2,652,819	88,338	2,741,157	現状維持
10	436	ごみ・資源の排出の適正管理	○	○	45,517	284,613	330,130	現状維持
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					4,827,979	1,660,687	6,488,666	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

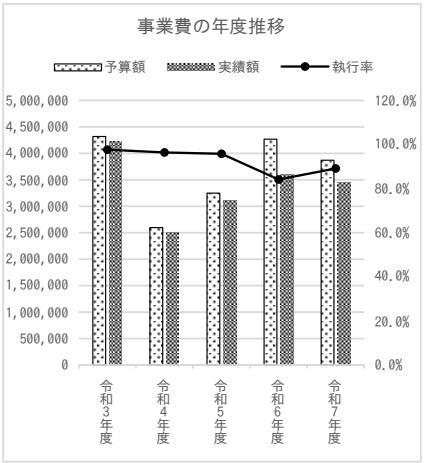
施策	11　グリーンインフラを活用した都市環境の形成		
分野	03　気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち		
施策担当課	みどり公園課	関係課	都市整備部管理課、土木計画課

施策目標

○区民・事業者等と区が協力することによって、みどりの総量が増加するとともに、みどりの質も向上しています。
○グリーンインフラの整備が進むことによって、生物多様性の維持・確保や水害・浸水対策の機能向上など、自然環境が持つ多面的な効果を生かした都市環境が形成されています。
○みどり豊かな身近な憩いの場として、また、災害時に備えたオープンスペースとして、誰にとっても安全で快適に利用できる公園整備が進んでいます。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	当該年度に新設、拡張整備した公園面積		㎡	計画	1,587	14,058	5,121	17,515	
				実績	1,587	14,062	5,383	-	
				達成率	100.0%	100.0%	105.1%	-	
	接道部緑化助成延長		m	計画	350	350	350	350	
				実績	127	44	77	-	
				達成率	36.3%	12.6%	22.0%	-	
	多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき改修した公園数		園	計画	6	9	6	5	
				実績	5	9	6	-	
				達成率	83.3%	100.0%	100.0%	-	
	みどりに触れ合えるイベントの開催数		回	計画	3	3	3	3	
				実績	3	3	3	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
成果指標	緑被率	みどりの実態調査	%	計画	22		22	24.1	令和12年度
				実績	21.99	21.99	21.99	-	24.7%
				達成率	100.0%	-	100.0%	-	
	分類　社会成果（課題）指標								
	区民一人当たりの公園面積	年度当初の区内公園面積÷人口	㎡/人	計画	2.27	2.3	2.35	2.37	令和12年度
				実績	2.27	2.3	2.3	-	2.47㎡/人
				達成率	100.0%	100.0%	97.9%	-	
	分類　社会成果（課題）指標								
	みどりの豊かさに満足する区民の割合	区民意向調査による	%	計画	88	88	89	89	令和12年度
				実績	84.4	88.6	88.5	-	90%
				達成率	95.9%	100.7%	99.4%	-	
	分類　区民満足度指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	4,319,010	2,597,043	3,248,498	4,268,211	3,870,501	3,557,091
			実績額	4,218,579	2,504,042	3,112,437	3,591,666	3,450,736	-
			執行率	97.7%	96.4%	95.8%	84.1%	89.2%	-
	人件費	千円	予算額	600,551	597,249	573,057	599,171	648,796	659,916
			実績額	634,834	628,174	617,393	679,574	716,776	-
			執行率	105.7%	105.2%	107.7%	113.4%	110.5%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	4,919,561	3,194,292	3,821,555	4,867,382	4,519,297	4,217,007
			実績額	4,853,413	3,132,216	3,729,830	4,271,240	4,167,512	-
			執行率	98.7%	98.1%	97.6%	87.8%	92.2%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,244,412	244,601	0	0	11,300	58,251
			実績額	1,003,983	150,451	0	234,152	61,204	-
			執行率	80.7%	61.5%	-	-	541.6%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-35.1%	19.6%	27.4%	-7.2%	-6.7%
			実績額		-35.5%	19.1%	14.5%	-2.4%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	12.2%	18.7%	15.0%	12.3%	14.4%	15.6%
			実績額	13.1%	20.1%	16.6%	15.9%	17.2%	-



特記事項

令和７年度事業費の執行率82.6%についての主な要因は、公園整備・リニューアルにおいて、繰越明許費や契約落差金が発生したため。

施策の成果	「杉並区みどりの基本計画」の改定に向けては、グリーンインフラの活用により、自然の力を暮らしに活かす視点を新たに取り入れた改定案を作成し、区民等の意見提出手続を行いました。 公園整備について令和7年度は、荻外荘公園展示棟を開館したことや、すぎはち公園を新規開園したことで、公園面積は増えましたが、人口も増加したため、区民一人当たりの公園面積の増減はありませんでした。 公園改修については、「多世代が利用できる公園づくり基本方針」に基づき、5公園の改修工事を実施するとともに、令和8年度に改修する5公園について地域でのワークショップを開催し、区民とともに公園づくりを進めることができました。その他、柳窪公園、高円寺東公園、上荻窪児童遊園に雨水浸透施設を設置し、水害対策の強化を図りました。 みどりに関する取組では、建築行為等における緑化指導（1,824件）や接道部緑化の助成（77m）等によって、みどりの創出やみどりのネットワークの形成を推進しました。あわせて、保護指定制度による支援のほか、ボランティア等による屋敷林等の維持管理への支援によって民有のみどりの保全を図りました。また、みどりのイベントや落ち葉感謝祭などを開催し、区民のみどりへの関心を高めました。
課題の分析	近年の夏の記録的な暑さや局地的な豪雨等の対策として、自然が有する機能を地域の課題解決へと活用するグリーンインフラの重要性は増しています。公園の整備・改修においては、グリーンインフラを実装できる重要な機会であるため、樹木を植栽することによる木陰創出や雨水浸透貯留施設の設置、区民の憩いの場の提供等を進めていく必要があります。また、倒木や枝折れによる事故を防止するため、公園や公共施設での樹木の点検も必要です。 区内のみどりの７割が民有のみどりであることから、その支援策の検討も重要となっています。みどりの基本計画の改定を契機として、より実効性の高い保全につながるよう、保護指定制度の指定要件や支援内容、運用方法の見直しを行う必要もあります。さらに、地域で屋敷林・農地等を守るためにボランティアによる落ち葉掃き等を行い、所有者の負担を軽減する取組も重要です。 みどりの基本計画の改定では、区民がみどりとの関わりをじぶんごととして捉え、協働で守り、みどりの未来をつくることとしています。そのため、みどりの基本計画の改定内容について多くの区民に知ってもらう必要があります。雨庭など区民ができる取組を広めるとともに、豪雨対策で大きな役割を果たす善福寺川上流地下調節池については、都と緊密に連携しながら住民理解が得られるよう協力して事業を進める必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	みどり豊かな良好な環境を維持していくため、公園や公共施設における樹木の計画的な点検・診断及び更新を行い、安全で快適なみどりの空間を確保します。また、気候変動への対応を見据え、木陰の創出や雨水浸透・貯留機能の強化など、グリーンインフラの考え方を公園や道路、公共施設の整備をはじめとする様々な事業に取り入れていきます。さらに、改定した「みどりの基本計画」に基づき策定する（仮称）グリーンインフラガイドラインやグリーンインフラ交流会を通じて、区民や事業者との理解の共有を図るとともに、区の様々な事業へのグリーンインフラの活用を進め、防災性の向上や生物多様性の確保、快適な都市環境の形成など、グリーンインフラがもたらす多様な効果を活かしたまちづくりを進めます。 区内のみどりの多くを占める民有地のみどりについては、改定した「みどりの基本計画」に基づき、保護樹木等指定制度の見直しを進めるとともに、保全施策の充実を図ります。 さらに、新たな公園整備や既存公園の改修においては、区民との対話を通じて多世代が利用できる魅力ある公園づくりを進めます。加えて、令和９年度に実施予定のみどりの実態調査では、新たに樹冠被覆率を把握し、地域ごとのみどりの状況を踏まえた、保全・創出施策につなげていきます。また、みどりの価値を次世代へ継承していくため、区民や事業者がみどりへの理解を深め、自らの行動につなげられるよう、継続的な情報発信や普及啓発に取り組みます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　11　】【施策名称　グリーンインフラを活用した都市環境の形成　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	399	水辺環境の整備	○		5,589	23,763	29,352	現状維持
2	414	公園等の整備	○	○	925,977	58,480	984,457	現状維持
3	415	公園のリニューアル	○		435,764	43,006	478,770	現状維持
4	416	みどりを育てる	○	○	28,911	54,675	83,586	現状維持
5	417	みどりを創る	○		130,206	43,840	174,046	現状維持
6	418	みどりを守る	○	○	41,060	43,469	84,529	推進（拡充）
7	419	みどりの基金	○		12,548	5,718	18,266	現状維持
8		以下再掲事業の評価表						
9	431	自然環境の保全						
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					1,580,055	272,951	1,853,006	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	